

## 審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第7回 立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン 21 推進委員会 合同会議（オンライン開催）
開催日時	令和3年10月1日（金曜日）午後6時00分～8時15分
開催場所	オンライン会議、立川市総合福祉センター（2階 ボランティアルーム・団体交流室）
次第	1. 委員長あいさつ 2. 前回のふりかえり 3. 市民へのPRについて 4. ロジックツリーの作成に向けて 5. グループワーク 6. その他
配布資料	1. 第6回委員会 審議会等の議事の要旨（要点） 2. 広報たちかわ9月25日号 3. 重点推進事項ロジックツリーフォーマット（案）
出席者	<p>[委員]</p> <p>熊田博喜（委員長）、宮本直樹（副委員長）、石田芳朗、小澤清富、小野寺隆司、菊池萌、菅根浩子、高田利花、野々久美子、藤原紀子、宮崎彩乃、文淑礼</p> <p>[事務局]</p> <p>&lt;立川市&gt;</p> <p>白井貴幸（福祉総務課長）、高橋知宏（地域福祉推進係長）、辻陽平（地域福祉推進係）</p> <p>&lt;立川市社会福祉協議会&gt;</p> <p>山本繁樹（地域活動推進課長）、枝村珠衣（地域活動推進課主幹）、伊藤尚拡、栗野恵莉菜（経営総務係）、柳澤実（地域づくり係長）、小林理哉、高橋美季（地域づくり係）</p> <p>[オブザーバー]</p> <p>伊藤和香子（立川市福祉保健部高齢福祉課地域包括ケア推進係長）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	以下の通り
その他	次回は令和4年1月～2月の開催を予定しているが、具体的な日程は別途調整する。なお、第4回部会は令和3年12月23日(木)午後7時00分～9時00分、立川市役所で開催、地域福祉アンテナショッ

	プの進捗確認や「協働型」地域福祉アンテナショップの定義に関する検討を行う。
担当	立川市社会福祉協議会 地域活動推進課 電話 042-529-8300（代表）

## 主な意見、質疑応答

### 【2. 前回の振り返り】

#### <事務局>

資料1の前回議事要旨を参照し、代表的な意見を共有した。

#### ○地域福祉アンテナショップについて

- ・従前で定められていたアンテナショップ3つの設置形態(全部型・一部型・協働型)のうち、全部型・一部型のみ要綱で定めることとする。
- ・協働型については制定手続きが簡易である実施要領等で別途定めることとする。

#### ○グループワークについて

- ・目標達成に向けたストーリー(物語)を考えていくために「ロジックモデル」という考え方に試験的に挑戦する。

#### <委員長>

- ・市が直営か委託をするという要綱内容の変更は地域福祉計画にとって後退ではなく、市が責任をもって運営していくという意思の表れでもあり、前進していると考えられる。
- ・「協働型」の地域福祉アンテナショップについては、詳細の内容を詰めていく必要がある。立川の特色を反映させていくためにも、今後の部会等を活用しながら活発な意見交換を行っていききたい。
- ・3つの重点推進事項の達成に向けては、それぞれが独立して機能するのではなく、それぞれが相互に作用しながら地域の福祉を増進していく関係になるため、一体的に考えていく必要がある。

### 【3. 市民へのPRについて】

広報たちかわ9月25日号を参照し、地域福祉アンテナショップの特集記事について情報共有を行った。

#### <事務局>

- ・広報たちかわの9月25日号の中面で、地域福祉アンテナショップの特集が取り上げられた。その中で、一番町北住宅を活用した「にこにこサロン」について、担当地区の地域福祉コーディネーターや住民と立ち上げの経緯などについて話し合う座談会形式で掲載した。

- ・広報掲載後、「一番町以外に地域福祉アンテナショップはないのか」という問合せを受けたが、現状1ヶ所のみということをお伝えした。

<委員>

- ・羽衣町では、市民グループによる傾聴や訪問看護師による出張相談などを行う取組みが展開されている。これは地域福祉アンテナショップの取組みに資するものであるため、市としてもしっかり把握し、情報提供に活かしていただきたい。

#### 【4. ロジックツリーの作成に向けて】

<委員長>

- ・今回も引き続き3つの重点推進事項のロジックツリー作成に向けたグループワークを実施したい。
- ・前回委員会でのグループワークを踏まえて事務局にてロジックツリーの案を作成したので、それらを参考にワークを進めてもらいたい。
- ・本日いただいた意見も踏まえ、ロジックツリーを一定の形には整理したいと思うので、ぜひ活発なグループワークになることを期待する。

#### 【5. グループワーク】

資料3-1・3-2・3-3を参照し、3つの重点推進事項に関してそれぞれのロジックツリーを作成するグループワークを行った。各グループのまとめは別紙のとおり。

<委員長総括>

- ・具体的な指標が検討され、かなり体系的に整理されてきた。進捗状況を評価していくためにも、数値目標をセットで考えられるようにしていくことが今後の課題である。

#### 【6. その他】

基本情報「その他」に記載のとおり。

以上